栗田谷アカデメイア寮内プログラム

栗田谷アカデメイア設立の目的である、「多様なバックグラウンドを持つ者同士が起居を共にし、多彩な交流や体験を通して、文化的・歴史的背景に由来する価値観や個々の特性の差異を乗り越え、多様性を尊重し、新たな価値を生み出すコミュニティを創造すること」を実践する為に、基礎プログラムにて、チャレンジ力・コミュニケーション力・相互理解力を養成すると共に、自主的に物事を考え、広い視野に立ち、異なる言語や価値観を越えた真のコミュニケーションを実現する場として実践プログラム（SDGｓPBL実践プログラム）を提供します。基礎プログラムで養成されるチャレンジ力・コミュニケーション力・相互理解力を実践プログラムで活用し、寮生自らの成功体験と失敗体験を繰り返しながら創造力と課題解決力を磨き、SDGｓ（※1）を推進できる人材へと成長できるプログラムです。

▼寮内プログラムは「基礎プログラム」と「実践プログラム」で構成されます。

実践プログラム

SDGs 実践プログラム

★オリエンテーション
ーカードゲームを通してSDGs17の目標を達成する道のりを体感

★グループワーク
ー様々な価値観の違いを乗り越え、協同で新たな価値を創出

★ゲスト講演
ー世界で活躍するゲストによる講演

★ゴール
ー持続可能な世界を実現するためのスタート

課題解決力

創造力

チャレンジ力

コミュニケーション力（発信力）

相互理解力

基礎プログラム

多様性を知る

★自己理解
ー日本文化を知る

- 入寮ガイダンス
- 栗田谷アカデメイアに関する講和
- フロアコントラクト
- メディアリテラシー研修
- アイデンティティを知る講座
- 部活連携によるコンテンツ

★他者理解
ー異文化を知る

- 栗田谷アカデメイア歓迎会
- ブラックバイト防止セミナー
- 多言語コミュニケーション
- ダイバーシティに関する講演会
- グローバルセミナー
- 寮生による自主企画イベント

★地域理解
ー地域イベントへの参加

- 消火訓練
- 町内パトロールへの参加
- 洲崎神社祭礼自治会ふれあいの集い
- 盆踊り大会
- 松中防災拠点防災訓練
- ふれあいの集い兼防災炊き出し訓練

基礎力をつける

★英語力の向上
ーPBLプログラムの共通言語を英語とし、英語でのブレーンストーミング、　グループ間でのチャット、レポート作成、プレゼンテーションを行うことで英語基礎力向上を目指す。

（※1）　持続可能な開発目標（SDGs）とは，2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され，地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。 SDGsは発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。

栗田谷アカデメイア寮内プログラム概要

対象

栗田谷アカデメイア寮生

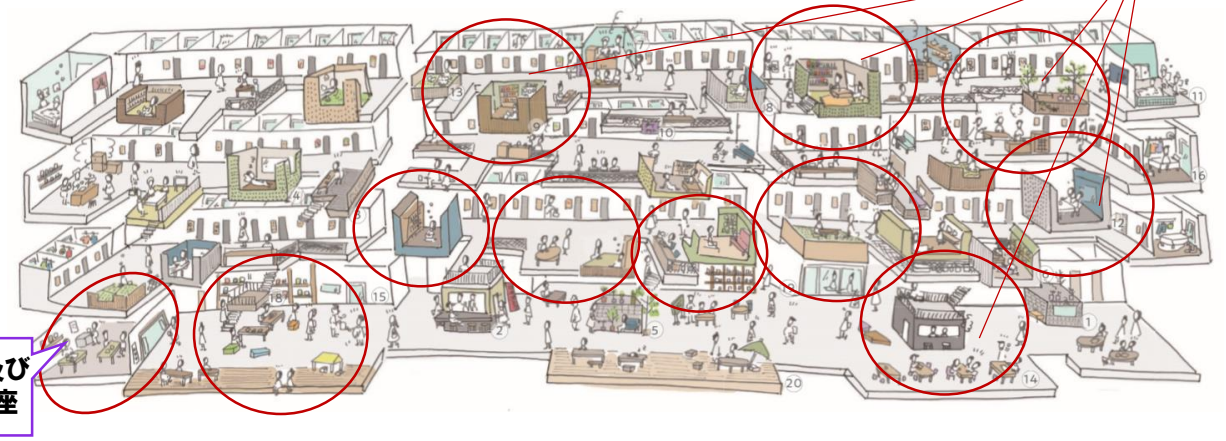
※交換留学生の参加を考慮し、半期毎にプロジェクトが完了
神奈川大学生は2年間のうち最大4プロジェクトに参加可能
（次のSeasonに継続を促す為の役割等のSTEP有り）

実施場所

栗田谷アカデメイア寮内共用スペース

※グループ（6-7名）でのワークを中心に寮内POTをワークスペースとして活用します。
※RA発信の企画もポットを活用し開始します。

RA発信の企画やプロジェクトグループのワークは寮内のPOTを活用



セミナー及びゲスト講座

期間

交換留学生の入寮時期・期間を考慮し半期単位で実施

Season1：2020年4月～9月

4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月

Season2：2020年10月～2021年3月

10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月

実践プログラム内容

- **SDGsを身近に感じるオリエンテーション**
  -SDGsを身近に感じるために、カードゲームを通してSDGs17の目標を達成する道のりを体感-
- **テーマ設定（グループ決定）＋リサーチ**
  -1グループ6-7名になるようにプロジェクトグループを決定-
- **グループワーク（課題解決の為の仮説設定）**
  -各プロジェクトグループでのブレストによる課題解決の為の仮説設定-
- **中間報告（プロトタイプ実施結果）**
  -実施結果の中間報告。ファシリテーターが進捗を確認しスケジューリング-
- **グループワーク（個別報告＆フィードバック）**
  -各グループの進捗に合わせて個別報告を受け、フィードバック-
- **成果発表（プレゼンテーション＆ラップアップ）**
  -各グループの成果を15-20分で全体発表

基礎プログラム内容

- **オリエンテーション**
  -新入寮時のオリエンテーションをRAを中心とした寮生にて実施-
- **RA発信企画**
  -ウェルカムパーティや母国料理紹介などイベント開催-
- **地域との共生**
  -地域の活性化を図る、日本らしさを知る機会-
- **英語力の向上**
  -寮生による勉強会開催-
- **部活動とのコラボレーション**
  -和室やAVルームを活用した部活とのコラボレーションを企画-
- **自主企画**
  -寮生発信の自主企画を積極的に実施-

栗田谷アカデメイア寮内プログラムの特徴①実践プログラム

栗田谷アカデメイア発～世界へ

SDGs実践プログラム

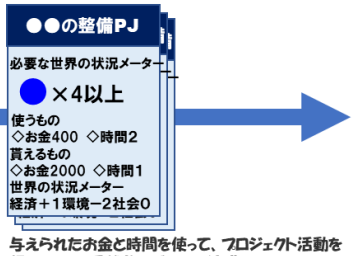
実践プログラムの特徴

栗田谷アカデメイア設立の目的である、「多様なバックグラウンドを持つ者同士が起居を共にし、多彩な交流や体験を通して、文化的・歴史的背景に由来する価値観や個々の特性の差異を乗り越え、多様性を尊重し、新たな価値を生み出すコミュニティーを創造すること」を実践する為に、異なる言語や価値観を越えた真のコミュニケーションを実現する場としてSDG s PBL実践プログラムを開始します。

①オリエンテーション

カードゲームを通してSDGs17の目標を達成する道のりを体感

参加者が様々な価値観からゴールイメージを設定



与えられたお金と時間を使って、プロジェクト活動を行うことで、最終的にゴールを達成

参加者全員で創り出す世界の状況

②グループワーク

様々な価値観の違いを乗り越え、共同で新たな価値を創出

寮内のあらゆる場所がワークスペース

チャットツールでお互いの進捗を確認

③ゲスト講演

世界で活躍するゲストによる講演

- 世界で難民支援や教育支援に取り組むunicef現役職員の方
- 外資系コンサルティングファームにて再生エネルギープロジェクトに取組む方
- 福島と中国の高校生の交流を通して多文化理解や環境問題（放射線とPM2.5）に取組む元JICA職員の方

④ゴール

持続可能な世界を実現するためのスタート

SDGs実践プログラムの取組み期間中は、様々な仮説検証を繰り返しながら、身近なところでの課題解決を図っていきます。
それらを継続する仕組みに繋げたり、取組の成果を世界に発信していきます。

栗田谷アカデメイア発～世界へ

基礎プログラム

基礎プログラムの特徴

基礎プログラムでは、基礎力をつける取組みとして、セミナーや講和等は全て英語で実施されます。実践プログラムでの英語でのグループワーク、チャットツールを利用したコミュニケーション等、英語を実践的に用いるプログラムとなっております。
また、多様性を知る取組みとして、「自己己理解」「他者理解」「地域理解」の３つのテーマに沿ったセミナーやイベント等を用意しております。

①オリエンテーション

入寮時のオリエンテーションをRAを中心とした寮生にて実施

入寮時の寮内施設案内やルール説明は寮生にて行います。寮の魅力や生活情報の説明など、英語でのコミュニケーション機会を設けています。

②地域共生

地域の活性化を図る、日本らしさを知る機会

地域で開催されるお祭りや防災訓練に参加します。日本特有の文化や気象による生活習慣など、留学生が体験できるよい機会です。

③英語力向上

日常生活そのものが英語力向上の機会

寮生の英語力向上のために、海外からの外国人インターンシップ生による英語講座等も予定しております。

セミナーやグループワーク、チャットツールは全て英語を基本とします。

④寮生自主企画

ウェルカムパーティや母国料理紹介などイベント開催

ＲＡ主催のウェルカムパーティーやミニイベントが企画されています。
また、RA以外の寮生からも自由な発想による企画を随時受け付けます。和室やＡＶルームを活用した部活動などとのコラボレーション企画も予定しています。